

◆「俳句のまち～いしかり～」第14回俳句コンテスト入選作品◆

*選者 小西 龍馬 氏(北海道俳句協会顧問)
横山 いさを 氏(縦俳句会代表)

1. 天位(1点)	巻き上ぐる網のずしりと初鯨	石狩市	畑中 貴子
2. 地位(5点)	白濁の海に鯨の群来を知る もっこより鯨こぼせし少年期 鯨漬うまし八十路の塩加減 鯨群来石狩挽歌風にのり 海鳴りの沖昂ぶるや鯨群来	札幌市 福島町 洞爺湖町 羽幌町 札幌市	桑田 陽子 花田 星河 矢野 知子 川平 康雄 加藤 弘美
3. 人位(15点)	たまちはふ海神のみ知る鯨群来 鯨群来にしん番屋の見張窓 モッコ背の母の思い出鯨群来 舟底に鯨満載まっしぐら 絶間なく帳場電話や鯨群来 背を開き葎簀に並ぶ初鯨 乳白の海は正夢鯨群来 ジオラマの鯨裂く背に母さがす レシピなき母の味継ぐ鯨漬 石狩の海にあい風群来鯨 袋澗を残して鯨去りゆきぬ 遠き日や鯨運びしあの畚 追分の小節にちから鯨群来 表札は祖父の名のまゝ鯨番屋 眼裏や貨車積み鯨汲む吠	北広島市 小樽市 美深町 小樽市 石狩市 石狩市 北広島市 石狩市 古平町 札幌市 せたな町 江別市 札幌市 札幌市 喜茂別町	樋口 幸子 木原 槇枝 飯塚 孝 伊藤 玉枝 小泉 千孝 小泉 澄子 水口 茂 久保 孝子 渡辺 嘉之 島 泰 用名 ハル 日下 久夫 伊藤 哲 菊地 勝弘 佐藤 コヨ
4. 佳作(20点)	海荒れてカモメが騒ぎ鯨群来 鯨群来スマイウオロの語源あり 鯨焼く父は頑固に振塩す 老いの身に騒ぐ血潮や鯨群来 かぶりつく鯨一尾の浜の飯 雄叫びの鯨迫るや厚田沖 石狩や鱗まみれに鯨揚ぐ 石狩の絶えて久しき鯨食ぶ ヤン衆の声を再びニシン漁場 幾年月鯨番屋の太き梁	札幌市 函館市 福島町 札幌市 石狩市 石狩市 札幌市 札幌市 釧路市 石狩市 稚内市	桑田 陽子 大江 流 葉山 彰 芝崎 秋水 小玉 聡 小玉 聡 板本 敦子 笹森 君子 植木 郁子 静間 典子

双眸に確と厚田の鯨群来
鯨来て狼煙を上げた日は遠く
過疎の浜一気に広げ鯨群来
箸放り一家駆け出す群来の報
浜益の鯨番屋の夢のあと
鯨焼く脂滴る潮の音
鯨群来浜の古老の深き皺
老蚕の姉さん被り鯨群来
湾膨る真一文字に鯨群
村あげてよろこぶものに鯨群来

札幌市
佐賀県
石狩市
札幌市
石狩市
石狩市
札幌市
札幌市
石狩市
登別市

田森 つとむ
瀧本 昌美
曳地 理子
坂本 一溪
棚橋 文男
下澤 安子
小林 博枝
藤林 正則
戎屋 健一
袖山 功